

めいわ議会だより



平成32年1月末完成予定の明和中学校イメージ図
—明和中学校建設工事基本設計書より—

目次

- 第4回定例議会 P2
- 委員会ダイジェスト P3
- 一般質問 P4～8
- 傍聴に来ませんか！ P9
- その後、どうなった？ P10～11

NO. **167**
12月議会号

発行／編集 明和町議会

第4回 定例議会〈12月19日～22日〉

災害に強いまちづくりを



台風21・22号による災害地を視察する議員(平成29年11月16日)

12月定例会に提案された議案などは、**全て原案のとおり可決しました。**

こんなことが 行われました

(19日)

- ◆ 諸般の報告・行政報告がありました。
- ◆ 5人の議員が一般質問をしました。
(詳細はP4～8)

(20日)

- ◆ 2人の固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。
- ◆ 3件の専決処分した事件を承認しました。
- 平成29年度一般会計補正予算(第3号)
- 平成29年度一般会計補正予算(第4号)
- 平成29年度明和町斎宮跡保存事業特別会計補正予算(第3号)
- ◆ 3件の条例改正を可決しました。

- 明和町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 明和町職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 明和町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

- ◆ 平成29年度補正予算の説明がありました。
- ◆ 平成29年度国補漁12水産物供給基盤機能保全事業下御糸漁港航路浚渫工事その2請負契約を可決しました。
- ◆ 平成29年度歴13社会資本整備総合交付金事業斎王北野線外2路線景観形成舗装工事請負契約を可決しました。
- ◆ 平成29年度歴14社会資本整備総合交付金事業坂本斎宮線外2路線景観形成舗装工事請負契約を可決しました。

(22日)

- ◆ 平成29年度補正予算を可決しました。
- ◆ 2件の土地の取得を可決しました。

意見書

- 「全国森林環境税」の創設に関する意見書

人事

- 固定資産評価審査委員会委員
渡部 邦昭氏(斎宮)
堀木 稔生氏(池村)



2階普通教室のイメージ —明和中学校建設工事基本設計書より—
(提供:教育総務課)

委員会 ダイジェスト

委員会の主な内容です

自動車ナンバープレート 『伊勢志摩』導入に向けて

総務産業常任委員会

○ご当地ナンバープレート『伊勢志摩』のアンケート調査では7割の方が賛成でした。昨年11月、知事宛に導入に向けた要望書を提出。伊勢志摩定住自立圏を構成する内の3市4町で、平成30年3月までに県から国へ正式な申し込みをする予定です。

明和町災害見舞金 支給規則の説明

教育厚生常任委員会

○町民バス等の説明があり、バスの台数増の可能性や「おかげバス」との接続状況を質疑しました。

○明和町災害見舞金支給規則の制定等の説明があり、見舞金の対象世帯数の確認(4件)をしました。

中学校建設工事基本設計の 報告について

公共施設等建設特別委員会

10月31日の委員会において、中学校建設工事基本設計資料に基づき、教育委員会から説明がありました。

委員からは、
「多目的トイレは、車いすの人が中で回転できるようにお願いしたい。」

「中学校は、災害時の避難施設として考えているのか。将来的に使用する目的で考えているならば、発電機等の設置について考えていかなければ。」などの意見がありました。

これに対して執行部からは、
「多目的トイレは中で車いすが回転できるよう実施設計の中で検討していく。」

「将来的に災害時の避難施設として使用する見通しが必要で、実施設計の中で考えていく。」との答えでした。

その他、緊急時には、エレベーターにストレッチャー(動けないケガ人や病人を搬送するための器具)が入るよう要望しました。

○北藤原・川尻、大堀川新田の津波避難タワーの進捗状況の説明を受けました。より安全に出入りできるよう、進入口等について地域の皆さんと協議するよう要望しました。

○10月の台風21号での被害が、農林水産施設では37ヶ所で概算事業費1億5千万円、町道施設では18ヶ所で概算1千7百万円に及びました。災害復旧補助を少しでも多く受けるよう要望しました。

○修正小学校の通学路に付けられたハンブ(通行する自動車の速度を抑えるために付けられた凸凹)の効果について、報告を受けました。

○中学校の漏水・総合体育館の照明改修の説明があり、早急に対応し天井材の修繕も行うよう要望しました。

○こども園・保育所等の申込み状況等の説明があり、保育士の待遇改善等を求めました。

○歴史的風致維持向上計画事業の説明があり、舗装内容の確認をしました。

5人の議員が 町政を問う Q&A 一般質問

○一般質問は、議員が町政全般について町長・教育長に報告や説明を求めるものです。

住みたい町、住んで良かった町 明和町をめざして

伊豆 千夜子 議員

答 誇れることは、町民の心の豊かさ



問 議員就任後、初質問をした平成19年3月議会より11年足らずが過ぎた今、あらためて明和町として他の市町村に誇れることは何か。

町長 「沿岸部、南部丘陵地の自然、国史跡斎宮跡、何よりも町民の心の豊かさ」が誇れることであり、今もその気持ちを持ち、事業展開している。

問 地震・津波がくる可能性のある地域があるが、若者の人口減少への影響はあるのか。

防災企画課長 新聞記事では、「津波避難タワー」の建設で地域を守る工夫で結果的に人口流出や土地価格の下落を止める効果がでてくる。」とコメントされている。

問 若い人たちに住んでもらうため、町としての若者に対する政策は何か。

町長 松阪市、伊勢市との広域連携の必要性和若者の意見を聞く場を、行政施策の中でつくっていくかなければならないと考えている。

問 住宅取得のための補助金制度はどうなっているのか。空き家対策としてリフォームしてから貸す、という考えと状況は、

町長 空き家対策協議会を設置し、有効活用についても議論中である。移住促進のための支援事業補助で工事費の助成について制度化している。

問 若者と意見交換をする「(仮称)ふれあいトーク」等の場を持つてはどうか。

町長 色々な面で、明和町に住んでよかったと思える施策の展開をしているかなければと思っている。

問 若者の意見が反映され、力が活かされる明和町は、未来がより一層豊かだ元氣な町になっていくと思っている。町長のお考えは。

町長 長期的な視野に立って、様々な施策を展開していく。単に若者だけでなく、幅広い層の方がおみえで、町の特性を活かして行政運営をしななければならない。



台風21号について

中井 啓悟 議員

答 一日も早い災害復旧を行う



問 10月22日から23日にかけて襲来した台風21号について、22日に実施された衆議院選挙の投票日と重なったが、明和町ではどのように対応していたのか。

防災企画課長 衆議院選挙投票日の朝には、九州地方に接近することが予測できたため、3日前の木曜日にタイムライン（防災行動計画）を発動し、災害対応関係課の職員は、災害対応に従事した。

問 修正小学校の裏山の崩壊については、行政と個人、池村の土砂災害については個人と個人の中心で復旧しなければならぬのか。町として応援できることは。

町長 個人の所有地への公費での対応は難しい。近隣市町の状況を確認して、今後の方針を検討したい。また修正小学校においては、地権者と協議をする。

問 修正小学校の復旧について、子どもたちの安全のため早急な対応ができないか。

教育長 専決補正により、被害拡大を防ぐための防雨対策を計上した。現在、文部科学省の災害復旧の補助関係書類を急いで作成中である。県や国の補助決定後、復旧工事にかかる補正計上を行う予定。

問 新茶屋地区の浸水被害において、地元自治会から要望書が提出されているが、その後どのように話し合い、どんな対策をしてきたのか。

町長 整備方法の検討を行い、地元と協議した。また流末の伊勢市と協議を行い、河川の整備について要望を行った。次に県道を横断している暗渠（地中に埋設された排水路）について、排水計画に基づき、現行よりサイズを大きくした。今後、流末排水の整備について検討していく。



子どもたちの安全のために修正小学校の早急な復旧を！！

問 明和町と伊勢市及び県との協議はどのように進んでいるのか。

町長 昨年協議を行い、伊勢市の関連する自治会に協議を行っていただいた。それ以降の動きはない。今後粘り強く、協議を実施していく。三重県とは、関係者と現地へ向かい現状を確認した。

問 新茶屋自治会と県との協議はどのように進んでいるのか。

町長 三重県に対して、4項目の要望が新茶屋自治会より提出された。三重県として、地元と協議をしているが動きがない。町として、関係者一同を集め協議する場を設ける。

障がい者雇用の現状は

江 京子 議員

答 今後、更に積極的に取り組む



問 障がい者が住み慣れた地域で自立した生活を送るには、障がい者の受け皿を広げていくことが重要である。雇用率アップのための町としての推進と取り組みは。

町長 町内の事業所に向け、各関係機関と連携し、「社会的責任を果たす一環」として障がい者雇用に向け、短時間勤務やテレワーク、またパソコンのデータ入力など、柔軟で多様な雇用形態を率先して機会を提供してもらうよう働きかけていきたい。

問 働きたいと思われている障がい者の人数の把握はどのようにされているのか。

町長 就労希望の障がい者の人数は把握していないが、障がい者生活支援センターへ相談があった場合には、障がい者の状況や生活状況を把握した上で、障がい者の意向に添いながら支援をしており、相談者の現状や目標については、把握できていると考えている。



Cafe茶々(明和の里)



Cafe茶々の「うどん定食・みたらし団子・コーヒーセット」

問 町内の事業主に対して、障がい者への理解と雇用率アップにつなげる取り組みは。

町長 松阪地域雇用対策協議会において、「障がい者就職面接会」や企業経営者対象の「障がい者雇用促進セミナー」を開催している。また、「事業所訪問」や「事業所向け研修会」を通じ、障がい者雇用への理解を深め、雇用支援、職場への定着に向け積極的な働きかけを図っていく。

問 障がい者の就労には家族の理解が欠かせません。家族への相談・説明はどのようにされているか。

町長 「働かない」のではなく、障がいによって「働けない」状況であることを説明しながら、どのような支援で就労に向かえるのかを一緒に考え、また、間違った障がいの理解のため本人が混乱している場合が多々ある中で、ご家族が障がいについて適切に理解されるよう支援している。

問 三重県が推進している農福連携への町の取り組みは。

町長 三重県障がい者就農促進協議会が育成する「農業シヨブトレーナー」を活用し、就農体験の推進や相互理解を図っていく。

また「明和町地域自立支援協議会」などを通じ、障がい者の方々と農業経営者との橋渡し役となるよう努める。

問 「障害者優先調達推進法」に基づく町としての取り組みは。

町長 物品等の調達目標を定めた調達方針を策定し、年度終了後には調達実績をホームページで公表している。今後も物品等の調達の推進を図るため、町内にある障がい者就労施設等が取り扱う品目や業務などを記載したパンフレットを作成中である。

安心・安全のまちづくり 台風21号被害に対する 明和町の現状と課題

北岡 泰 議員



答 浸水対策を検討する

問 河川の増水に対する対策は。

① 今回の町内各地の床上床下浸水に対し、河道流下断面の低下問題解消のため河床掘削事業をいかに進めるのか。

② 上野地区の水害に関して、近鉄線路の下部拡幅改修の検討は。

③ 雨量観測システムの構築・大雨時のハザードマップ作成や、「気象防災データベース」の整備は。

町長 ① 明和町には3河川があり、すべて三重県の管理である。今回の浸水を受け、各河川の整備計画の見直しを三重県に働きかける。また維持管理についても、土砂の堆積等も確認できるため適正な管理について要望する。

② 今回の浸水被害を受け、明星幹線排水路近鉄山田線下の箇所について、現在、一部封鎖されている暗渠を、通水できるように近鉄と事前協議を行っており、測量結果に基づき、通水断面の確保を図りたい。

③ 全体的に見直す中で検討していく。

問 再生エネルギーに対する明和町独自の条例やガイドラインの制定及び町内に設置されている再生可能エネルギー施設の管理報告体制整備は。

町長 他市町では、自然環境保全という観点から出力10kW以上50kW未満の発電施設も対象とした設置に関するガイドラインを既に策定された事例もあり、それらも参考にしつつ、具体的に検討を行っていく。

問 崖崩れや法面崩落に対し、IoT（モノを介したインターネットサービス）を活用した観測・監視体制整備を進めるべきでは。

町長 現在、大雨時には職員が現地を確認し、状況に応じて、地権者に直接話かけている状況。今後、近隣市町の状況を確認する中で、町としての対応を検討したい。

問 第3期がん対策推進基本計画に対し、明和町の現状と課題

① 松阪市が進める中学生へのピロリ菌検査に取り組んではどうか。

② 子宮頸がん検診におけるHPV（ヒトパピローマウイルス）検査の併用に取り組んではどうか。

③ 健康づくり応援ポイント事業による受診率向上で将来的医療・介護費用の抑制に努めてはどうか。

町長 ① 中学校3年生での検査の実施には、不安要素が多くあるが、松阪市の状況等も見えていきながら、対応を検討していくこととしたい。

② 厚生労働省の現在の指針に準じ、松阪地区医師会や伊勢地区医師会の見解及び近隣市町の状況等も参考に、より有効な検診を今後も検討していく。

③ 先進地の事例や、企業を取り組む健康づくり事業との連携なども視野に入れ、事業実施による効果を示し、最も効果的な方法を模索し、慎重に検討していきたい。



河川の増水に対する対応を！（提供：まち整備課）

平成30年4月からの国民健康保険制度の改正について問う

奥山 幸洋 議員

答 県が市町とともに保険者となり
医療給付費の財源を確保する



問 三重県と明和町の役割分担で、国民健康保険事業の安定運営について財政運営、保険料金の決定、資格管理などとはどのような取り組みで進められるのか伺う。

町長 平成30年度からは、県が市町とともに保険者となり、国保財政について、責任を持って医療給付費の財源を確保することになる。
保険料金の決定については、県が決定した納付金を支払うため、町独自の保険税率を決定する。県の方針では将来的に、県内同一の保険税率になることを目指している。
保険証の発行・資格管理はこれまでどおり各市町で行うことになる。

問 ヘルスツーリズム（医学的な根拠に基づく健康回復や維持・増進につながる観光）の今後の取り組みについて、明和町の特徴ある資源を活用し町民、観光客の健康増進と観光振興に一体的に取り組むことで、「町民の健康増進」、「医療費の削減」、「新産業の創出」プログラムのサービス提供はいつ頃になるのか伺う。

町長 この事業は、平成28年度からの3年計画であり、今年度は当町の地域資源を活用した健康増進プログラムを開発し、その健康プログラムに観光客が参加できるヘルスツーリズム商品を開発し、受入・供給していく体制・組織を構築していく。そして、地域の関係団体や企業と連携し、自立した組織運営のしくみが構築できるよう、もう一年かけて本格的にこの事業が動き出すように取り組んでいる段階である。

問 平成30年介護保険法の改正について、高齢者の自立支援と重度化防止に向けた取り組みで、住まい・医療・介護・予防など、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの充実について伺う。

町長 今回の介護保険法の改正は、高齢者の自立支援等に関する施策を介護保険事業計画の中に位置付け、地域包括ケアシステムの強化を進めようというものである。医療と介護とを一体的に提供する「介護医療院」の創設、利用者の負担額の見直し、認知症施策の推進、高齢者と障がい者が同一事業所でサービスが受けられる共生型サービスの導入等、「我が事・丸ごと」の地域共生社会の実現のための取り組みを推進していく。



明和町ヘルスツーリズムセミナー 食のシンポジウム「斎宮食文化に想いを馳せ、現代の健康食を考える」（提供：長寿健康課）

傍聴に来ませんか！



平成30年 第1回定例会

明和町議会



傍聴席から

3月5日(月)～

23日(金)

一般質問は7日、9日を予定しています。
(変更の場合あり)

詳細は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

連絡先：明和町役場議会事務局
明和町馬之上945
0596-52-7122



斎宮きららの森芝生広場に設置された木製遊具

Q

斎宮きららの森において、民間に貸与した以外の10haの整備実施計画の取り組みは。

A

当面は、地域の憩いの場として芝生広場の利活用や、遊具等の設置を検討する。

こ

うなりました

芝生広場へ昨年末に14基の木製遊具を設置しました。また、適正な利用を図るため条例を制定しました。

どうなった?

このページは、1年前の一般質問がその後どうなったかを皆様にお知らせするものです。

このページの見方は

Q (一般質問の主な内容)

A (Qに対する町長などの答弁の内容)

こ (現在の取り組み状況や結果など)

定例会より～



双葉幼稚園



旭が丘幼稚園



なりひら保育所

(提供：こども課)

こ

うなりました

A

Q

双葉幼稚園・旭ヶ丘幼稚園の統合の話は、保護者の気持ちを無視したもの。今後の考え方は、子どもたちの集団教育が困難な状況を、もう一度説明に伺う予定。

なりひら保育所を含めた3園を統合して民間による新しいこども園を整備すべく、説明会等を実施中です。

こ
うなりました

すべての幼稚園・保育所に保健師や看護師を常駐させることは難しいが、引き続き配置を考えていきたい。

A
保健師や看護師の必要性は感じているので検討はしてきている。

Q
幼稚園・保育所に保健師や看護師を常駐させ、安心して子どもを預けられる体制をとっていくことは可能か。



1年前の一般質問

シリーズ
第75回

その後、

～平成28年12月

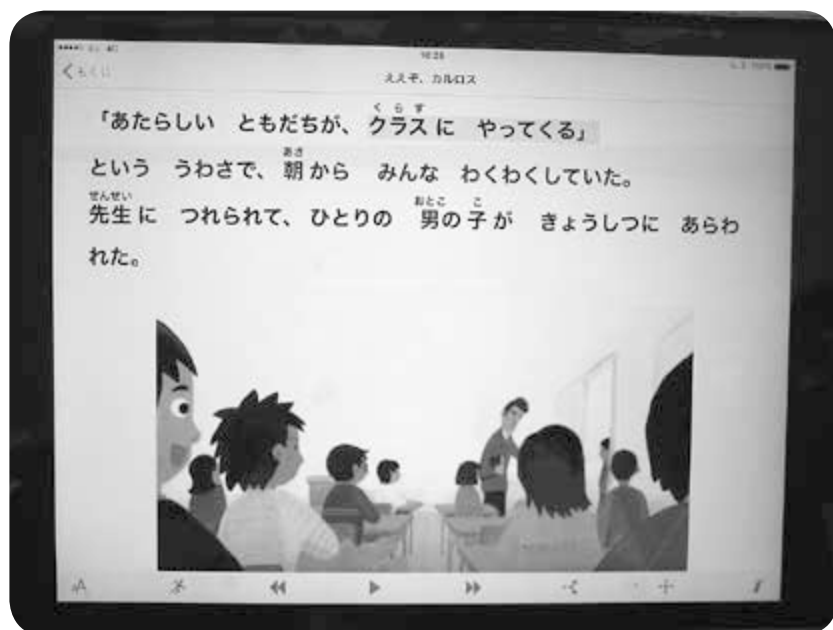
こ **A** **Q**

うなりました

デイジー教科書の導入や読み書き支援及びグループホームの整備で、障がい者差別解消法の取り組みを求める。

デイジー教科書の周知や代読代筆サービス及びグループホーム整備に取り組んでいく。

デイジー教科書は小学校で実施に向け研究中です。グループホームの整備については、事業者へ働きかけているところです。



デイジー教科書とは…通常の教科書の内容を、パソコンなどを活用して音声や文字で同時再生できるようにしたもの。

みんなの広場



今日もナイスショット！

花水貴の会ゴルフ倶楽部

平成22年8月に発足し、会長中沢義博氏の体制で第1回花水貴ゴルフコンペを9月に開催しました。

その時から、毎月第1水曜日を定例会として現在で87回目を迎えております。

会員の平均年齢は70歳を超えて、63歳から最年長は79歳の先輩までで、毎月35名ほどの参加者で競っています。

団塊の世代が中心の花水貴ゴルフ倶楽部ですが、5年後を考えると、誰でも何人が現役ゴル

ファーでいられるのだと思うと、超高齢化社会を肌で感じているところです。

しかしながら、いざクラブを握ると一打でも少なく、一つでも順位が上にいくよう真剣な眼差しです。

この光景がいつまでも続くことを願いながら今日もナイスショット！心のリフレッシュになればと思っています。

花水貴の会ゴルフ倶楽部
事務局 西川謙藏

議会のうごき

10月

- 3日 議会だより編集特別委員会
(No166第1回校正)
- 12日 議会だより編集特別委員会
(No166第2回校正)
- 31日 公共施設等建設特別委員会
全員協議会
(台風21号、22号による被害状況及び対応報告について)

11月

- 13日 議会運営委員会
(12月定例会について)
- 15日 多気郡町議会議員研修会
(いつきのみや地域交流センター)
- 16日 町内台風被害状況現地確認

12月

- 7日 教育厚生常任委員会協議会
(12月定例会について)
- 総務産業常任委員会協議会
(12月定例会について)
- 14日 議会運営委員会
(12月定例会について)
- 全員協議会(12月定例会について)
- 議会だより編集特別委員会
(No167全体計画)
- 19日 第4回定例議会開会(一般質問)
- 20日 本会議
- 22日 第4回定例議会閉会
- 27日 議会だより編集特別委員会
(No167第1回校正)



平成29年11月15日 多気郡町議会議員研修会が、いつきのみや地域交流センターで開催され、議会の機能と議員の役割について学びました。

編集室から

今年平成30年は、昭和33年9月3日に明和町が誕生して60年になります。これまでの間、町執行部と議会は様々な議論を重ね、今日の明和町を築き上げてきました。

3月の定例会では平成30年度の各会計予算、また一般質問、様々な議案の質疑を行い、承認・可決を行います。

60周年の節目を迎え、よりいっそう住民の皆様の『安全で安心して暮らせる明和町』に資するよう私たち議員一同は、活発で開かれた議会を目指し努力してまいりたいと思います。

少しでも多くの皆様が、本会議や委員会の傍聴、また、行政チャネル等をご覧いただければ幸いです。

今後町民の皆様が『議会』に関心を持っていただけまよう、しっかりと取り組む所存でございます。

お問い合わせは

議会だより編集特別委員会

☎7122(直)

(議会事務局内)